

METHOD RELATING TO SALE OF EVENT TICKET AND COST NEGOTIATION OF FACILITY UTILIZATION AND DEVICE TO IMPLEMENT THEM

Publication number: JP11031186 (A)

Publication date: 1999-02-02

Inventor(s): ONO KOTARO; TSUNODA KENJI +

Applicant(s): WASHI KOSAN KK +

Classification:

- international: *G07B1/00; B65G61/00; G06F19/00; G06Q30/00; G06Q50/00; G07B1/00; B65G61/00; G06F19/00; G06Q30/00; G06Q50/00; (IPC1-7): G06F19/00; G07B1/00*

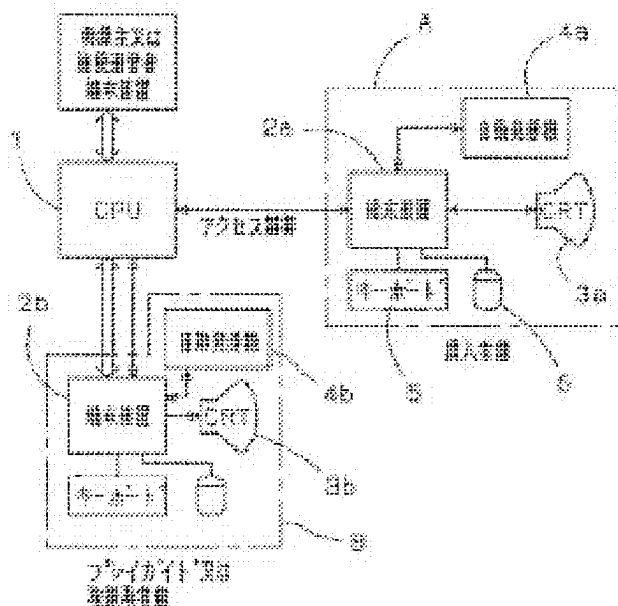
- European:

Application number: JP19970188198 19970714

Priority number(s): JP19970188198 19970714

Abstract of JP 11031186 (A)

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a method which improves sales rate of thicketts that are related to events such as culture, sport and amusement or permanent facilities or increases the number of users of facilities, etc., and a device which implements them. **SOLUTION:** Communication means is provided between an event promoter and event ticket sales dealers and/or the sales dealers and people who want to buy the tickets, tickets are sold while showing changed ticked prires with the ticket prices in relation to lapse of time and/or the number of residual seats, and a person who wants to buy selects sales condition to buy a ticket. Discount ticket price is inputted from a terminal of the promoter side to a central processor



(CPU 1) that is managed by the promoter, a ticket price to which business expenses and a commission are added based on the information at a terminal 2b of a sales window such as a play guide is notified to the person who wants to buy through a CRT 3a of a terminal 2a on the side of a buyer, and ticket vending machine 4a is installed which issues a ticket in exchange for the price by selecting application and confirmation buttons on a screen.

.....
Data supplied from the **espacenet** database — Worldwide

Family list

1 application(s) for: **JP11031186 (A)**

**1 METHOD RELATING TO SALE OF EVENT
TICKET AND COST NEGOTIATION OF
FACILITY UTILIZATION AND DEVICE TO
IMPLEMENT THEM**

Inventor: ONO KOTARO ; TSUNODA
KENJI

Applicant: WASHI KOSAN
KK

EC:

IPC: *G07B1/00;*
B65G61/00; G06F19/00; (+9)

Publication **JP11031186 (A)** - 1999-02-02 **Priority Date:** 1997-07-14
info:

.....
Data supplied from the **espacenet** database — Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-31186

(43) 公開日 平成11年(1999) 2月2日

(51) Int.Cl.⁹

識別記号

F I

G 0 6 F 19/00

G 0 6 F 15/26

G 0 7 B 1/00

G 0 7 B 1/00

C

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平9-188198

(22) 出願日 平成9年(1997) 7月14日

(71) 出願人 000116231

ワシ興産株式会社

東京都港区芝2丁目28番8号 芝2丁目ビル14階

(72) 発明者 小野 光太郎

福井県福井市照手1丁目1番16号

(72) 発明者 角田 憲治

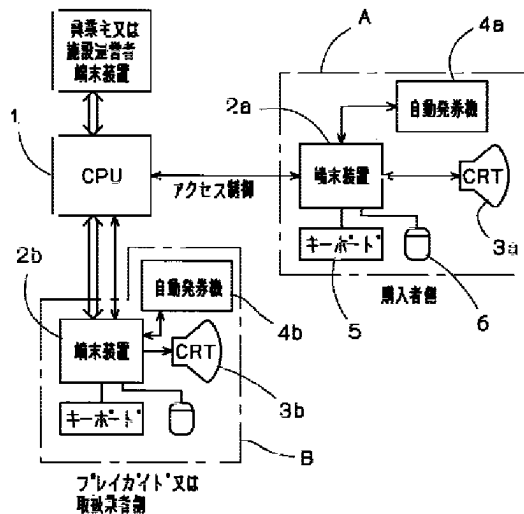
栃木県下都賀郡野木町丸林600-12

(54) 【発明の名称】 催し物チケットの売買および施設利用の価格交渉に係る方法とこれらを実施するための装置

(57) 【要約】

【課題】 文化、スポーツ、娯楽等の催し物又は常設された施設に係るチケットの販売率の向上あるいは施設などに於ける利用者数の増加を図る方法とこれらを実施するための装置を提供すること。

【解決手段】 前記催し物の興行主と該催し物のチケットの販売取扱い業者との間及び／又は該販売取扱い業者間と更にチケット購入希望者との間に通信手段を設けて、チケット価格を時間の経過及び／又は残席数との関連において変額されたチケット価格を表示することでチケットを販売し該販売条件を購入希望者が選択してこれを購入する。興行主が管理する中央処理装置 (CPU 1) に興行主側の端末装置から減額したチケット価格を入力しプレイガイド等の販売窓口側の端末装置 2 b にてこの情報に基づき営業経費や手数料を加算したチケット価格を購入者側の端末装置 2 a の CRT 3 a を通じて購入希望者に告知し画面 1 0 上の申し込み・確認ボタン 1 1 を選択することで代金と引き替えにチケットを発券する自動販売機 4 a を設置する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 文化、スポーツ、娯楽等の催し物（以下、催し物という）あるいは遊園地、ゴルフ場、ホテルや旅館、劇場等の常設の営利を目的とする施設（以下、施設という）等が発行するチケットの売買又は前記施設利用の価格交渉に於いて、興行主や施設経営者（以下、事業者という）とチケット販売取扱い業者あるいは施設利用取扱い業者との間及び／又はこれら取扱い業者間にコンピュータの介在を含む通信手段を設け、所定の催し物あるいは施設利用の開始時刻より前720時間以内の時間帯において、当該チケット価格あるいは施設利用価格を時間の経過及び／又は残席数や利用度等の関連において価格を変額し、変額されたチケット価格あるいは利用価格を表示及び／又は告知することでチケットの販売や施設利用の受け付けを行い、該販売あるいは該利用条件を選択して購入又は予約を行う方法とこれらを実施するための装置。

【請求項2】 事業者とチケット販売取扱い業者あるいは施設利用取扱い業者との間及び／又はこれら取扱い業者間に加えて実質上の購入又は予約希望者あるいはそれらの代理人との間にコンピュータの介在を含む通信手段を設け、所定の催し物あるいは施設利用の開始時刻より前720時間以内の時間帯において、当該チケット価格あるいは施設利用価格を時間の経過及び／又は残席数や利用度等の関連において価格を変額し、変額されたチケット価格あるいは利用価格を表示及び／又は告知することでチケットの販売や施設利用の受け付けを行い、該販売あるいは該利用条件を選択して購入又は予約を行う方法とこれらを実施するための装置。

【請求項3】 請求項1及び2に記載のコンピュータの介在を含む通信手段を用いて、チケットの購入又は予約あるいは施設利用希望者が残席数と変額されるチケット価格又は施設利用価格との関連を考慮した上で、希望するチケット価格や施設利用価格又はこれらに価格幅を指定し、当該指定価格又は価格幅に変額されるチケット価格や施設利用価格が該当した場合に、当該チケット価格や施設利用価格にてチケットを購入又は施設利用の予約を行う方法とこれらを実施するための装置。

【請求項4】 請求項1から3に記載の方法において、変額された価格のチケットを購入あるいは施設を利用することを目的とするか、少なくともこれをその目的の一つとした会員制度を採用し、そのメンバーを対象に変額された価格のチケットを販売又は購入あるいは施設利用の予約をする方法とこれらを実施するための装置。

【請求項5】 請求項1から4に記載の方法及び装置において、所定の催し物に係る情報（例えば、コンサート名、日時、場所、クラス、価格、残席席数など）あるいは施設利用に係る情報（例えば、ゴルフ場、ホテルや旅館等の日時別利用度及び価格）を表示及び／又は告知する手段が電話、ファクシミリ、電光掲示板、プロジェク

ター、液晶あるいはCRTディスプレイなど各種表示装置のほか音声（合成音声を含む）であって、チケットの購入希望者又は施設の利用希望者が所望の条件の指示及び／又は情報を選択して、これら所望の条件及び又は情報に従って作動する自動発券機及び／又は予約機によりチケットあるいは予約券を発券する装置。

【請求項6】 請求項5に記載の自動発券機又は予約機に用いるチケットあるいは予約券の原紙が無地又は地模様入りの用紙であってディスプレイ画面上に売買又は予約条件の他に意匠デザインを加味して前記原紙に印刷してなるチケットあるいは予約券を用いた請求項1から5に記載のチケットの販売又は購入あるいは施設利用の予約を行う方法とこれらを実施するための装置。

【請求項7】 請求項5に記載の自動発券機及び／又は予約機によるチケットあるいは予約券の代金支払いを現金、外貨、クレジットカード、プリペイドカード、金券、商品券、旅行クーポン券、旅行券、電子マネーの内のいずれか或いはこれらを併用して行うことを特徴とする販売方法とこれらを実施するための装置。

【請求項8】 請求項5及び7に於いて、チケットの売買、施設利用の予約を行う際、自動発券機あるいは予約機の所有者、賃借主、設置主、管理主等の少なくとも一つが取得すべき口銭即ち利益、手数料、通信費、使用料、償却費などを一括又は個別にその負担額を当該チケットあるいは予約券に記載しこれら負担額を加算して代金を回収することを特徴とする販売方法とこれらを実施するための装置。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は、催し物を対象とするチケットの販売あるいは施設の利用に係るチケット購入あるいは施設利用の予約方法とこれらを実施するための装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】催し物を対象とするチケットは自ずと定員が定まっていて、座席指定券が発行されるから空席状況は所定の催し物の事業者の管理する中央処理装置において把握されており発売は概ね六ヶ月前から行われている。又、営利を目的とする常設の施設においては特に指定席を設けていないものもあるが、入場券としてのチケット販売や競技施設の利用の予約を受け付けている。チケットの販売は各プレイガイド等の販売取扱い業者の店頭窓口にて行われるのが一般的でありこれら販売取扱い業者に設置されている端末装置は事業者の管理する中央処理装置に接続されているのでチケット購入希望者の要望に添うようなチケットを販売することができる。施設を利用するための予約は特にチケットなどの販売が行われない場合もあるが定員があってこれを越えては予約できないものである。又電話やファクシミリによる予約受け付けも行われており後日代金引換によりチケットを入

手している。最近ではインターネットの発展により居ながらにして催し物のチケット発売状況や施設の利用状況を把握できチケットの購入あるいは施設利用の予約を行うと共にクレジットカードの登録番号を送信することで代金の支払いが行われ、後日当該チケットの郵送を受けるかあるいは近くのプレイガイドの窓口でチケットを受け取るようにしているがこの場合は座席指定番号をプレイガイドにて記入する必要がある。以上述べたチケット販売あるいは施設利用の価格が変動しないものであり一義的にサービス料金を設定しているものである。

【0003】催し物が人気の高い場合はチケット発売後短期間で完売されかつプレミアムがついてチケット価格が高騰することもあり、反面さほど注目されていない知名度の低い場合はチケットが売れ残ることがある。興行主側においては予定されたチケットが完売されれば問題はないが大幅に売れ残りがでた場合は採算がとれなくなる恐れがあるからチケット価格を割り引きして観客を集めた方が得策であり催し物も盛況を呈すると思われる。一方チケットを購入する側においては、チケット価格が今少し安くなればその催し物に出かけたいと思うものである。これらの事情を勘案すると興行主側とチケットを求める側との情報交換が容易に行える方法があれば双方の利害を一致させることができる。

【0004】また、催し物に限らず常設された施設において観客や利用者から料金を得る場合がある。例えば、ディズニーランドに代表される遊園地、ゴルフ場、レジャーランド、ホテルや旅館、映画館、劇場等に於いては休日には人々が賑わい平日は閑散とする場合が多い。このような場合に於いても施設を提供する側とこれを利用する側との利害を一致させるための手段が講じられれば甚だ好都合である。本発明はこれらの事情に鑑みて提案されるものである。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】催し物又は常設された施設に係るチケットの販売率の向上あるいは常設された施設等における利用者数の増加を図る方法とこれを実施するための装置を提供することである。

【0006】

【課題を解決するための手段】催し物あるいは施設等が発行するチケットの売買又は前記施設利用の価格交渉に於いて、事業者とチケット販売取扱い業者あるいは施設利用取扱い業者との間及び／又はこれら取扱い業者間にコンピュータの介在を含む通信手段を設け、所定の催し物あるいは施設利用の開始時刻より前720時間以内の時間帯において、当該チケット価格あるいは施設利用価格を時間の経過及び／又は残席数や利用度等の関連において価格を変額し、変額されたチケット価格あるいは利用価格を表示及び／又は告知することでチケットの販売や施設利用の受け付けを行い、該販売あるいは該利用条件を選択して購入又は予約を行う。

【0007】更に、事業者とチケット販売取扱い業者あるいは施設利用取扱い業者との間及び／又はこれら取扱い業者間に加えて実質上の購入又は予約希望者あるいはそれらの代理人との間にコンピュータの介在を含む通信手段を設け、所定の催し物あるいは施設利用の開始時刻より前720時間以内の時間帯において、当該チケット価格あるいは施設利用価格を時間の経過及び／又は残席数や利用度等の関連において価格を変額し、変額されたチケット価格あるいは利用価格を表示及び／又は告知することでチケットの販売や施設利用の受け付けを行い、該販売あるいは該利用条件を選択して購入又は予約を行う。

【0008】そして、前記の通信手段を用いて、チケットの購入又は予約あるいは施設利用希望者が残席数と変額されるチケット価格又は施設利用価格との関連を考慮した上で、希望するチケット価格や施設利用価格又はこれらに価格幅を指定し、当該指定価格又は価格幅に変額されるチケット価格や施設利用価格が該当した場合に、当該チケット価格や施設利用価格にてチケットを購入又は施設利用の予約を行う。

【0009】また、変額された価格のチケットを購入あるいは施設を利用することを目的とするか、少なくともこれをその目的の一つとした会員制度を採用し、そのメンバー（会員）を対象に変額された価格のチケットを販売又は購入あるいは施設利用の予約を行う。この場合は、当該メンバーによる入札による価格指定が可能である。物品の売買において優遇措置の受けられる様なグループや互助会などは一種の会員制を構成しており会員の身元が保証されていることもあって好適であるが、これら既存の会員制度においてはその定款を変更する必要がある。

【0010】所定の催し物に係る情報（例えば、コンサート名、日時、場所、クラス、価格、残席数など）あるいは施設利用に係る情報（例えば、ゴルフ場、ホテルや旅館等の日時別利用度及び価格）を表示及び／又は告知する手段が電話、ファクシミリ、電光掲示板、プロジェクター、液晶あるいはCRTディスプレイなど各種表示装置のほか音声（合成音声を含む）であって、チケットの購入希望者又は施設の利用希望者が所望の条件の指示及び／又は情報を選択して、これら所望の条件及び又は情報に従って作動する自動発券機及び／又は予約機によりチケットあるいは予約券を発券する。

【0011】前記自動発券機又は予約機に用いるチケットあるいは予約券の原紙が無地又は地模様入りの用紙であってディスプレイ画面上に売買又は予約条件の他に意匠デザインを加味して前記原紙に印刷してなるチケットあるいは予約券を用いてチケットの売買あるいは施設利用の予約を行いチケットの準備を不要にする。

【0012】なお、販売取扱い業者あるいは施設利用取扱い業者の販売斡旋窓口にて担当者が購入又は予約希望

者の要望に基づき条件の指示や情報の選択を行うことも本発明に含まれる。

【0013】前記自動発券機及び／又は予約機によるチケットあるいは予約券の代金支払いを現金、外貨、クレジットカード、プリペイドカード、金券、商品券、旅行クーポン券、旅行券、電子マネーの内のいずれか或いはこれらを併用して行う。

【0014】チケットの売買、施設利用の予約を行う際、自動発券機あるいは予約機の所有者、賃借主、設置主、管理主等の少なくとも一つが取得すべき口銭即ち利益、手数料、通信費、使用料、償却費などを一括又は個別にその負担額を当該チケットあるいは予約券に記載しこれらの負担額を加算して代金を回収する。

【0015】

【発明の実施の形態】一例としてコンサートの場合を説明する。図1は、本発明装置のフロー図であり、図2はCRT画面の一例を示す。図1において興行主の管理下にあるCPU（中央処理装置）1には所定のコンサートに関する座席の販売状況が記録されており、クラス別の座席数を管理する端末装置が接続されている。一方、一点鎖線で囲まれたB部分はプレイガイド又はクレジット会社や旅行業者などチケットの販売窓口に設置されている端末装置2bでありCPU1に接続されており、CRT3bにより座席の販売状況が逐一読み取ることができる。また一点鎖線で囲まれたA部分はチケットを購入する側の端末装置2aであり、キーボード5、ポインティングデバイス6及びCRT3aが接続されており、更にCRT3aの画面上の情報をチケット購入希望者が選択及び／又は条件を入力して、申し込み・確認ボタン11を押すこと（指を接触させるかポインティングデバイスにより選択する操作等を含む）により画面に表示される情報に基づくチケットを現金又はクレジットカード等で清算の上、発券する自動発券機4aが端末装置2aに接続されている。なお端末装置2bにも自動発券機4bが設置されており、販売窓口担当者が操作して購入希望者側のCRT3a画面上の情報と同一の情報に基づき発券することが出来る。

【0016】所定のコンサートの座席指定を伴うチケットの未販売数即ち残席数が多い場合には興行主の端末装置からチケット価格を減額して希望者を集めるように指令が発せられCPU1に残席数と減額率が入力される。減額率は時間軸と価格軸に直線又は曲線として描かれるような変化率が用いられる。一方、販売窓口側の端末装置2bはCPU1に接続されているからCRT3bの画面から新しい情報を直接読むことができる。この新しい情報に基づいて、販売窓口側の担当者は、減額率に営業経費や手数料などを加算してCPU1へ入力し、この情報のみ購入者側の端末装置2aにより読むことができるようにアクセス制御がなされている。また、チケットを自動発券機にて発券する場合はその発券機が取得すべき

口銭を計上する必要があるので別途利益、手数料、通信費、使用料、償却費などを一括又は個別にその負担額を入力し購入者側はこれらの負担金を合算して支払うことになる。この負担金は興行主側が負担する場合もありその指示は興行主側の端末装置から指示される。実際インターネットを利用する通信費はプロバイダーへの加入料として支払われるからその負担金は興行主側か本発明の販売方法を適用する業者側が負担することになる。その他の口銭は予め業者側にて定められるものである。

【0017】本発明の座席指定を伴うチケットの販売方法は当該コンサートの開催時刻より前720時間以内の時間帯としているのは経験的に個人の生活スケジュールの調整や目的を達成する際の気持ちの高揚などに鑑みたもので特にこれに限定されるものではないが仮に開催時刻の1000時間前から本発明の方法を始動したとしても時間の経過と共に720時間前の時間帯に到達した時以降は本発明に含まれる。また仮に480時間前の時刻から同様に始動したとしても本発明の時間帯に含まれることは言うまでもない。しかし催し物の種類によって適切な本発明の方法を始動する時刻は自ずと定まるから始動時刻は絶対的な時限はなくこれら事情を包括しうる時間帯として720時間を設定している。そこでチケット価格の減額率も10日以上の余裕がある場合は僅少とし2〜3日前からは大きな減額率を設定し更に当日においては減額率を大きくすることが望ましい。

【0018】本発明によれば、減額されることを期待して、購入希望者が所望のチケット価格を入力して減額するチケット価格に該当すれば当該価格にて所望のチケットを購入することができる。一例として、あるコンサートの開催前5時間の時点におけるチケット購入の場合を説明する。このコンサートのチケット価格はA席10000円、B席7000円、C席5000円にて六ヶ月前から発売しているが開催当日に於いてなお若干の空席がある。数日前からチケット価格の減額に踏み切り当日の5時間前の減額率は各席それぞれ10、25、40%でありチケット価格はそれぞれ9000、5250、3000円である。この状況をプレイガイドに設置された購入者側のディスプレイの画面の1例として図2に示した。その他の販売条件は図2に示す画面10の通りである。

【0019】次に、クラスB席のチケット購入希望者側の申し込み要領を図2及び図3を用いて説明する。図3の減額曲線は本例では直線にしているが曲線でも良く時間の経過と共に減額するものであればよい。CRT画面10上には減額曲線に沿って金額が表示され刻々と表示してもよいが購入希望者側からすると1分毎、5分毎、10分毎など一定の間隔毎に変額価格を表示した方が購入希望条件を指示又は選択するのに都合がよい。販売締め切り時刻を開催前30分として図示した。K1の人は開演5時間前にその時点のチケット価格5250円

にてチケットを購入することができる。またK2の人は減額されるのを見越して同じく5時間前に希望価格4000円に若干の余裕を持たせて希望価格幅として2000円を追記し2名の申し込みをした。K3の人は更なる減額を期待して4時間前に3000円で申し込み、K4の人は1時間前に同じ価格にて申し込むものとする。ところでK2の人が希望の価格にてチケットを入手できるのは開催前3時間をやや過ぎた頃であり価格は4200円である。このように時間の経過と共に価格が変化する状況では購入希望者はゲーム的感覚に陥るが図3における5時間前の状況では大半の人が斜線に示す範囲に申し込みを行うと思われる。したがってK3の人が希望の価格にて入手できるかは疑問であるが仮に3000円で残席数が1となった場合、希望価格が同一の場合は時間的に早いもの順とするべきであるからK3の人は開演前30分でチケットを入手できるがK4の人は入手できないことになる。もしK4の人が申し込む時点で希望価格幅に100円を入力しておけば立場は逆転しK4の人が3100円にて入手したはずである。なお減額率は一定にする必要はなく残席数に対して申し込む人がかなり多い場合は減額率を極めて緩やかに設定し興行主側の損失を少なくする。なお、減額率は購入希望者側には開示しないから減額する様子を減額価格に注意して推測するのみで極端な減額チケット価格を指定することにはならない。減額されたチケットに購入希望者が殺到するような状況になれば販売側としては減額率を緩やかに変更することも可能であり逆に画面10上の希望者数を見て早めに購入した方が得策と希望者側は思うものである。

【0020】以上述べたようなチケットの販売方法は、代金の回収を確実にするために申し込み・確認ボタンを押す際に希望価格によるチケットの代金を払い込むことが必要でありこれにより架空の申し込みを防ぐことが出来る。代金の支払いは、現金、外貨のほかクレジットカード、プリペイドカード、金券、商品券、旅行クーポン券、旅行券、電子マネーなど現金同様に流通する物が使用出来るようにする。但しこれらを代金として使用する際にはその真偽を見分けるための機器が必要となるから電子化されたカード類が好ましい。申し込みが不成功に終わった場合は払い戻しが必要であるからプレイガイド店頭など金銭の授受が容易に行える処で申し込むのが最も効率がよい。しかし、代金の回収を確実にするために申し込み時点で購入希望者が所望する価格の代金を添えて申し込むものとするとなれば代金は必ずしも一定でないから不成功に終わったときその代金を返還するのは甚だ面倒な事態を引き起こすことになるから内金として当該販売価格の10ないし50%を内金として一律に徴収するのが良く、更に内金は現金とするのが好ましい。

【0021】図2の画面10において購入希望者名を入力させるのは購入希望者の指示した希望価格に減額価格が該当したとき端末装置に組み込まれたスピーカによる

か電光掲示板、プロジェクター等各種表示装置を用いて知らせるほか販売窓口の担当者が呼び出しに使用するためであり、当該希望者を特定するのに役立つからである。実際、希望価格に合致してから代金を支払うのが通常の売買と思われるから代金の支払いが行われるまではあくまでも予約であり、予約が成立するには売買双方の信頼関係が必要である。一方、インターネットを利用する場合は申し込みと同時にクレジット番号を伝達しなければならないが上述したような当日の減額チケットを求めるのは催し物会場に近いことが条件になるほかチケットも受け取らなければならないから会場に端末装置が設置できれば甚だ便利である。また、クレジットカードの他にプリペイドカードが用いられるような体制を組むことも可能であり、本発明の方法に使用される専用の催し物プリペイドカードや施設利用プリペイドカードの販売も事業化できるものである。

【0022】常設される施設例えばゴルフ場を利用する場合、現状では平日と休日の料金のほか空きがあるか否かをCRTで表示することが行われている。本発明に於いては、平日の場合には曜日別、スタート時間別で使用料金を変額する。ゴルフの予定はコンペのように大勢の人が参加する場合は一ヶ月以上も前から日時を決定する必要があるが4人のみで行うときは月中の予定を組むのが普通である。誰しも半ラウンド終了したところで昼食をとれるような予定が好ましいからこの時間帯は申し込みが多くなる反面早朝や午後の遅いスタートは希望者が少なくなる傾向にある。そこでこれらの時間帯の使用料金を更に減額することで利用者の喚起を呼ぶことができる。減額の要領としては、曜日別、スタート時間別で行う例を説明する。スタートを15分間隔で行うとして、朝7時から午後2時までを一日のスタート時間帯とすれば、32組がそれぞれの時間にスタートすることが出来る。そこで7時台と1時、2時台のスタート組に減額を行うものとする。例えば7時スタートは通常の20%減、7時15分スタートは15%減、7時30分は10%減、7時45分は5%減とし、同じスタート時間でも土日曜日と平日では減額率を変更する。減額率は各ゴルフ場で任意に定めるが、一つのスタート時間に着目しこれの施設利用価格が720時間前の時間帯において時間の経過と共に減額率が変化するようにしてもよい。即ち、720時間前では通常価格100%とし、プレー前日を締め切り日としここで20%の減額率とするものでこの手法を他のスタート時間についても用いることが出来る。なお減額率は時間の経過と共に刻々と変化させるか24時間間隔で順次行ってもよい。逆に休日など予定が一杯になっておりかつ急な予定を無理に入れなければならないとき高い料金を設定することが可能である。希望の多い時間帯に一組の料金の高い予定を設定しておいても良い。ゴルフの利用申し込みはメンバーの紹介が原則になっているからCRTの情報に基づき申し込み際の

代金決済は不要となるので好都合である。

【0023】その他常設される施設においては同様の事情があつて遊園地、ホテルや旅館、劇場等においてはやはり曜日別、月別、季節別に当該価格を変額して希望者の意欲をそそる必要がある。これら施設の減額手法は例えば曜日別の閑散日に応じて一定の減額した価格を情報提供してもよいが更に当該日が近づくに従つて更なる減額を行つてもよい。いずれの場合も時間の経過及び／又は利用度の関連において価格の変額を行いこれを広く告知し希望者は希望価格になるのを待つかあるいは希望価格を入力して更なる減額を期待するものである。減額率が刻々と変化するか段階的に変化するかの選択は事業者側の自由である。

【0024】前述のゴルフの場合も申し込みにはメンバー本人か紹介が必要であるから会員制を用いた一つの例であるが、ここに述べる会員制は趣を異にするものである。人気の高いコンサート等は座席指定券が入手できない場合が多い。従つてプレイガイドの店頭などで予め用意された座席指定券の競売を行うことができる。競売の時刻を予めCRTにて告知しておき該時刻には価格の変額を停止し競売主催者を定めプレイガイド店頭に集まった購入希望者等から幾らかの入会費を徴収して会員制度を構成し入札により販売を行うものである。この場合競売の開始価格は変額を停止したときの価格から始めることになる。メンバーの資格取得はインターネットを通じても可能であり更に広く競売を行うのであれば主催者を興行主が行うことになる。広範囲にメンバーを求める場合、既存の物品の売買において優遇措置の受けられる様なグループや互助会などは一種の会員制を構成しており会員の身元が保証されているからこれらの会員を参加させることが出来れば好都合であるが各会の定款に本発明になる売買又は予約に参加する旨の加筆が必要である。

【0025】一般に主催者を定めて競りに掛けられる物は唯一の物であることが条件になるので入札者がチケットを1枚買うか複数枚買うかは自由であるが競売後チケットが残る場合もあり得るからその時点から再び価格の変額を開始する。従つて次回の競売に於ける競売開始価格は更に高くなる。本発明によれば、時間軸と価格軸の座標軸に時間の経過と共に金額が上昇するような直線又は曲線を設定しCRTに表示される金額を時間の経過と共に増額する。競売はメンバーの指し値で増額されるが、本発明では、予め設定した増額率に従い自動的に増額するので購入意欲をそそることになる。

【0026】指定席を伴うチケットの購入希望者等に情報を伝達する手段は電話やファクシミリでも可能であるが即応性に欠けるきらいがある。電光掲示板やプロジェクターは多数の人に同時に伝達するには好適であるが情報が一方的になるので端末装置を操作する者が側にいることが必要となる。その点液晶又はCRTディスプレイは情報を表示できるしその情報の中から必要な用件を選

択できること及び希望する条件を入力することも可能である。従つてCPU1と専用回線で接続される端末装置に限らずインターネットを通じて本発明の装置にアクセスすることも可能である。

【0027】以上に述べた実施態様においては端末装置を購入者自らが操作するようになっているが、CRTディスプレイのみを購入者が視認できるように設置し、口頭による依頼を販売者側窓口の担当者が入力することでも目的は達せられる。本発明の販売方法が購入希望者または施設利用者を減額率の大きいところに集中させるのではないかと懸念されるが実際には、遠方から出かける人やファンは確実にチケットを入手することを最優先に行うので安いものに集中する恐れはない。

【0028】一般的に、催し物のチケットは意匠性の高い印刷が施されており催し物の名称、場所、日時、座席番号等が記載されている。そこでプレイガイドに無地又は地模様の印刷されたチケット用紙を用意しておきCRT画面情報の中から購入希望者の選択する条件に基づきこれを前記チケット用紙にプリント可能な発券機を設置すればチケットの代用にすることが出来るので予めチケットを準備する必要はない。更にカラープリンターも現存しているから意匠性に富んだチケットをその場で打ち出すことも可能であり売れ残るチケットが無駄になることを防ぐことが出来る。

【0029】本発明において使用される自動発券機あるいは予約機は少なからず諸費用の掛かることであるからこれら機器の所有者、賃借主、設置主、管理主等の少なくとも一つが取得すべき口銭即ち利益、手数料、通信費、使用料、償却費などを一括又は個別にその負担額を当該チケットあるいは予約券に記載しこれら負担額を加算して代金を回収する。但し催し物の興行主や施設経営者など事業者側が負担する旨の意向があれば画面10上の口銭負担欄は0円となりサービス料金となる。

【0030】

【発明の効果】以上述べたように、本発明によれば、安価なチケットが手に入るのであれば催し物に出かけてみようかと思う人も多いので潜在的な需要が喚起される。一方空席が懸念される催し物においては観客や聴衆の確保が容易となり該催し物の更なる発展に寄与するものである。常設の施設の利用度も閑散時期に利用者が増加することになり全体としては収益を向上させる。この方法は最大限市場原理を導入するものであり興行主や施設運営者側と購入希望者又は利用希望者双方に有利な情報を提供することができる。又、人気の高い催し物に対しては、チケット発売後一定期間を経過した後徐々にチケット価格を上昇させる方法も採ることが可能であり購入意欲をそそることにもなるから興行主側においては増益につながる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明装置のフロー図である。

【図2】本発明装置に於ける購入者側のCRTディスプレイ画面図である。

【図3】本発明に於ける減額するチケット価格に対する価格指定の要領を示す説明図である。

【符号の簡単な説明】

1 中央処理装置 (CPU)

2 a, 2 b 端末装置

3 a, 3 b CRTディスプレイ

4 a, 4 b 自動発券機

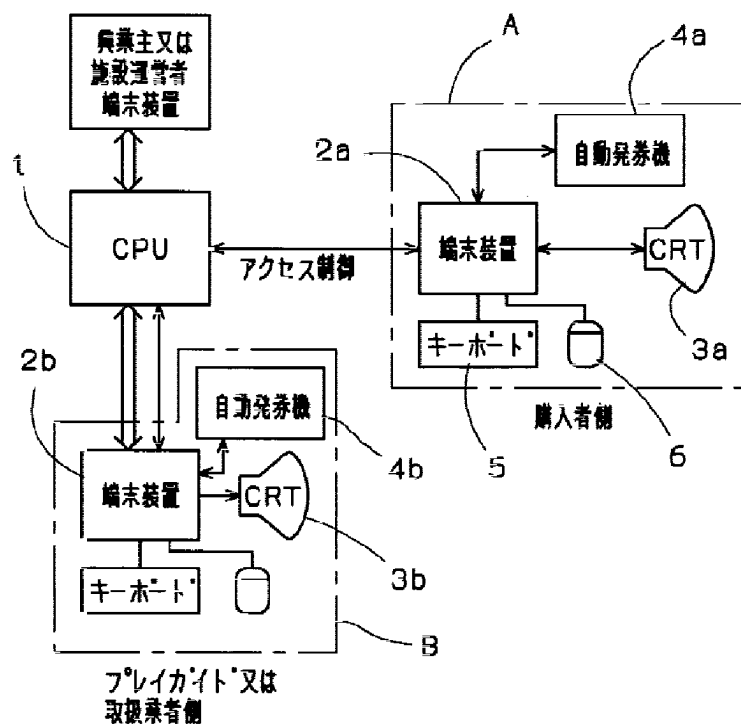
5 キーボード

6 ポインティングデバイス

10 画面

11 申し込み・確認ボタン

【図1】



【図2】

10

コンサート名				場所 000	現在の時刻 pm12, 00	
ホール名 ...	年/月/日 97/06/30	開演時間 pm05, 30	締め切り時刻 pm05, 00			
クラス	チケット価格	残席数	減価率(%)	希望数	希望価格	希望価格幅
AA	9,000	15	10	000
BB	5,250	120	25	002	4,000	200
CC	3,000	100	40	000
クラス別申込み者数						
AA005		BB070		CC080		
口銭負担内訳			申込み者氏名 K2	申込み・決済 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; display: inline-block;"></div>	現金 クレジット番号	

11

【図3】

